

2020年3月期 通期決算説明会 主な質疑応答（要旨）

Q1 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を教えてください。

- 足元では、衛生用品や食品などの巣ごもり消費の拡大や、不在率の減少による生産性改善などのプラス影響がある一方で、BtoBを中心とした宅急便やロジスティクス関連の取扱減少に加え引越需要の減少等のマイナス影響もあります。
- 新型コロナウイルス感染症の拡大は世界規模でサプライチェーンを毀損し、ライフスタイルやビジネス形態にも大きな変化を与えています。回復には時間がかかるものと想定しており、状況を注視していきます。
- 引き続き、様々な影響を見極めながら、お客様と社員の安全を最優先に、宅急便をはじめとする物流サービスの継続に努めつつ、With コロナなどライフスタイルの変化に対応するEC化の急進をはじめ、新たなニーズへの対応にも先手を打って取り組んでいきます。

Q2 コストコントロールの状況について教えてください。

- 「データ・ドリブン経営」への転換に向けて取り組んでおり、2020年3月期第3四半期以降、データに基づく経営資源の最適配置等のコストコントロールが効き始め、第4四半期の営業利益は前回予想を上回ることができました。
- 足元においては、宅急便の取扱数量が増加している状況下で、社員やパートナーの安全に最大限留意しながら、経営資源の最適配置に注力するなど需要の変化に柔軟に対応できるよう、コストコントロールに取り組んでいます。

Q3 グループ経営体制の再編方法の変更で追加的な費用が発生するのか教えてください。

- グループ経営体制の再編方法の変更により、業績に影響を与えるほどの追加的な費用が発生することはありません。
- お客様に向き合い、全体最適な組織に変革し、経営のスピードをより速めるという目的に変わりはなく、今後も経営構造改革を着実に進めていきます。

以 上